

だれもが安心して暮らせる福祉のまちをめざして

— 令和元年度の活動 —



関金地区福祉懇談会

地域で暮らす人々が抱える生活課題等を把握するとともに、課題を共有し、解決に向けて検討や話し合いを行うことで、安心して暮らせるまちづくりの一助とするものです。

10月6日（日）関金総合文化センターで「少子高齢化と見守り活動について」と題して開催しました。

事例発表では

○支え愛マップについて

倉吉市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 西田ひろみ さん

支え愛マップとは、災害時に誰かの助け・声掛けを必要とする人、声掛けできる人、避難先など一連の情報を盛り込んだ地図では、作成する過程で知ることのできた情報を共有し、日頃から声を掛け合う意識が生まれることを期待します。

○第2次関金地区福祉活動計画について

社会福祉協議会長 杉山博務 さん

2019年度から2023年度までの福祉活動計画が策定されました。今後5年間、関係機関・団体と連携・協力し事業を展開していきます。

- ・小地域福祉ネットワーク活動の推進
- ・高齢者福祉サービス事業の充実
- ・ボランティアの育成と活動支援
- ・関係機関・団体等とのネットワークの強化
- ・地区社協の組織体制の整備と活動財源の確保

○小地域福祉懇談会を振り返って（おたがいさま見守り事業）

今西自治公民館 池谷泰一 さん

日常生活で支援を必要とする人の生活課題等を解決するために、地域で安心して暮らせるネットワークをつくろう。

支え愛ゲームでは買い物、雪かき、庭の草取りなど具体的な困りごとを出し合いました。

「自分のためにも助け合いが大事だとわかった。」「困っている事を話す機会になった。」「福祉協力員だけの対応も困難なので、公民館役員で協力していこう。」と発言がありました。

○子どもの見守り活動について

関金地区地域安全推進連絡会長 福永晴美 さん

- ・地域安全街頭パトロール活動

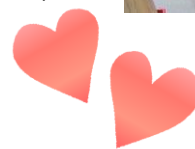
毎週金曜日午後4時から1時間程度、公民館車で町内をパトロール。6月～7月は青少年の非行防止とたまり場防止のパトロール。

- ・通学路に「通学路注意」旗の設置。

地区住民に通学路であることを認識してもらい、安全意識を高めている。



児童・生徒独居老人訪問活動



12月4日（水）関金小学校5年生24人が民生児童委員、配達ボランティアさんと一緒にひとり暮らし高齢者のお宅を訪問しました。

お手紙とプレゼントと一緒に、ふれあい給食サービス調理ボランティアに作っていただいたお弁当を渡し、楽しい会話と笑顔を交わしました。

このふれあい給食サービス（お弁当づくり）は月2回、調理ボランティア6団体（JA女性会、食生活改善推進委員会、日赤奉仕団、民生児童委員会、ひまわりの会）で作っています。



高齢者けんこうスポーツ大会

9月20日（金）関金健康増進施設で4チームが参加し、「関所破り」「ボーリング」「大玉ころがし」「玉入れ」などで熱戦が繰り広げられました。

看護大の学生、民生児童委員、日赤奉仕団等の協力をいただきながら声を掛け合い、元気に笑顔の絶えない一日を過ごしました。

総合順位は、優勝 椎ノ木会、2位 第二長寿会、3位 第一長寿会、4位 だんだんクラブでした。



買い物支援サービス

ひとり暮らし高齢者で買い物をしてくれる家族等がなく不便を感じている方を対象に、申し込みを受けてバスで買い物に出かける事業です。

今年は7月1日（月）と11月26日（火）に、「いない中央店」と「パープルタウン」で日用品、衣類、惣菜等の買い物をしました。

関金地区社協、民生児童委員、かもがわ地域包括支援センターの同行で車椅子の準備や商品の会計、荷物持ちの支援がありました。



活動団体の作品を展示しました。

10月、倉吉市福祉センターに関金地区で活動されている団体の「ちぎり絵」「押し花」「陶芸クラブ」作品を展示しました。これは、13地区社会福祉協議会が毎月作品展示をしているもので、10月は関金地区社会福祉協議会が作品を展示しました。

「素晴らしい作品を作られていますね!」と好評で、関金地区の活動を知ってもらうきっかけになりました。

